

令和5年度 富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦評

令和5年 6月4日(日)		会場：南砺市福野体育館													
男子 試合No. 特4		決勝戦													
勝ちチーム 高岡第一	80	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>19</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>19</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>21</td></tr> </table>	20	—	9	19	—	8	19	—	17	22	—	21	55 負けチーム 高岡工芸
20	—	9													
19	—	8													
19	—	17													
22	—	21													
戦 評															
<p>1Q、高岡工芸のボールでスタート。両チームともゾーンDfからの立ち上がり。高岡第一はDfリバウンドからの速攻、高岡工芸はボールを回してドライブによる加点を狙っていた。互いに得点が伸びなかったが、1Qの中盤、高岡第一の4番が交代して入りオールコートのDfに。ここから高岡第一の攻撃が決まり始め、高岡工芸がT0。しかし勢いは変わらず、高岡工芸は攻めきれず1Qは20-9で終了。2Q、高岡工芸の5番がOf・Dfリバウンドともに頑張るが、ゾーンそのものの攻略にはつながらなかった。両チームともゾーンを攻めきれず、外から打たされてDfにとられる攻防がしばらく続く。高岡第一の4番のステップイン、8番の3Pが当たり始めると点差が開いた。高岡工芸はボール回しからのドライブで攻め、ファールをもらいつつチャンスを狙うもなかなか得点にならず、39-17で2Qを終える。</p> <p>3Q、互いにゾーンに対して攻略できるようになり一進一退の攻防。中でも高岡工芸の9番がスペースに飛び込んだりドライブから加点を続ける。残り3分、高岡工芸はオールコートプレスを仕掛けるが、高岡第一はパスをつなげて攻撃を続け、58-34で3Q終了。4Q、高岡工芸はハードDfをするが、高岡第一9番はその中でも得点を重ねた。高岡工芸も6番と9番の3連続3Pなどで流れを戻そうとする。高岡工芸のT0後、高岡第一5番が4つ目のファールで交代するが、大勢に影響なかった。その後も高岡第一9番のプレイが流れを渡さず、その後高岡工芸5番の5ファールもあり、80-55で高岡第一の勝利となる。</p> <p>高岡第一は3年連続4回目の優勝を果たした。</p>															
記録者： 鈴木 雅雄		所 属：富山県高体連専門部													
クルーチーフ： 山田 隆介		1st アンパイア： 山本 達也													
2st アンパイア： 一ノ谷 聡															